

## ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	取組内容	令和元年度推進状況
創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金への参画</li> <li>・ひろしま中小企業支援ネットのパートナー金融機関としての参画</li> <li>・よろず支援拠点との連携</li> </ul>	(1) 公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金に平成19年度から参画し、役員と審査員の派遣と運用財産の拠出を行っています。 (2) 平成24年11月に「経営革新等支援機関」の認定を受け、創業支援や新事業支援への取り組みを積極的に行っています。 (3) 中小企業者等への経営支援機能(経営改善サポート)を補完・強化するため地域密着型金融の取り組みとしてひろしま中小企業支援ネットに参画しています。 (4) 相談先に悩む中小企業等の相談窓口として、販路拡大を始めとする様々な経営課題に対応し、相談内容に応じて、中小企業等への適切な支援機関の紹介や、支援機関において対応が困難な相談案件への対応等を実施する「よろず支援拠点」と連携して、支援体制の強化に努めています。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業・新事業の支援を目的とした融資商品の推進</li> </ul>	(1) 創業・新事業の支援を目的とした「創業支援ローン」の令和2年3月末の利用実績は22件27百万円となりました。
成長段階支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長事業への支援としての取り組み</li> </ul>	(1) 成長事業の支援として「太陽光発電関連融資」「アグリ・農林事業者向け融資」等に取り組んでいます。
経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営支援先を選定し、経営支援プロジェクトと営業店が一体となったお客さまの経営改善支援</li> </ul>	(1) 経営支援先として280先を選定し、経営支援プロジェクトと営業店が一体となってお客さまの経営支援に取り組んでおり、令和元年度は11先がランクアップしました。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家派遣による経営改善の取り組み</li> </ul>	(1) 広島県内の専門家派遣事業を推進して、お取引先の経営改善・経営課題等の解決に積極的に取り組んでいます。
事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県中小企業再生支援協議会等、外部専門家機関との連携による事業再生</li> </ul>	(1) 「広島県中小企業再生支援協議会」と連携し、現在29先のお客さまの事業再生に取り組んでいます。 (2) 平成24年5月に建設企業の経営革新等を推進することを目的として「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」に加盟しました。 (3) 県内中小企業者の経営改善サポートを強化するために設置され、定期的に開催される「ひろしま中小企業支援ネット」に参画し、中小企業者のお客さまに対しての支援強化を推進しています。 (4) 広島県内企業の活性化に寄与すると判断し、平成23年5月「ひろしまイノベーション推進機構」からの要請を受け官民ファンドへ出資しています。 (5) 経営革新等支援機関(認定支援機関:税理士、中小企業診断士等)と連携し、現在28先のお客さまの事業再生に取り組んでいます。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中小企業金融円滑化法」終了後の取り組み</li> </ul>	(1) 中小企業金融円滑化法は平成25年3月末で終了しましたが、貸付条件の変更等や円滑な資金供給といったご要望に、引き続ききめ細やかな対応を継続する中でコンサルティング機能の一層の発揮等による経営支援の強化に取り組んでいます。また、定期的かつ継続した訪問活動等によりお客さまとの信頼関係を築くことで、経営課題等の相談に親身になって取り組んでいます。 (2) 中小企業金融円滑化法終了後の事業活性化を支援する取り組み商品として、平成25年5月に「事業活性化支援ローン」の取扱いを開始し、令和2年3月末の利用実績は418件5,226百万円となりました。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新型コロナウイルス感染症」の影響拡大を踏まえた取り組み</li> </ul>	(1) 「新型コロナウイルス感染症」の影響拡大を踏まえ、貸付条件の変更や新たな資金需要等に、きめ細かくスピード感を持って対応しています。 (2) 「新型コロナウイルス感染症」により影響を受ける事業者の資金繰りを支援する商品として、令和2年2月に「新型コロナウイルス関連対策ローン」の取扱いを開始し、令和2年3月末の利用実績は8件72百万円となりました。
事業承継	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「シシヨービジネスクラブ」等を活用した事業承継の支援</li> </ul>	(1) 毎期ビジネスクラブセミナーを開催しています。 (2) 外部専門家との連携を強化して、事業承継支援に取り組めます。

### 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	取組内容	令和元年度推進状況
担保・保証に過度に依存しない 融資などへの取組み	・キャッシュフローを重視し、過度に担保・保証人に依存しない融資商品である「スーパービジネスローン」、「ドリームローン」、「地域創生支援ローン」ならびにカードローンなどの継続推進およびABLの活用	(1)平成15年から、キャッシュフローを重視し、過度に担保・保証人に依存しない融資商品である、「スーパービジネスローン」、「ドリームローン」、「地域創生支援ローン」を取扱い、令和2年3月末利用実績は3商品合計で1,318件の11,189百万円となりました。また、カードローン商品として「ビジネスカードローン」、「パーソナルカードローン」、「ゆとりカードローン」を取扱い、令和2年3月末利用実績は3商品合計で1,565件の5,488百万円となりました。 (2)平成22年8月からお使いみち自由に事業性資金・借り換えも可能なフリーローン「快速アシスト」の取扱いを開始しました。令和2年3月末の利用実績は126件の62百万円となりました。 (3)ABL(動産・売掛金担保融資)の活用を行っています。 (4)平成26年2月1日より適用開始となった「経営者保証に関するガイドライン」について、適切な対応を行っています。 (5)平成26年8月に発生した広島土砂災害の被災者および平成30年7月に発生した西日本豪雨災害の被災者を対象とした「シンヨー災害復旧事業者ローン」および「シンヨー災害復旧ローン」を取扱いました。令和2年3月末の利用実績は24件の152百万円となりました。
企業の将来性、技術力を的確に評価できる 能力など、人材育成への取組み	・企業の将来性、技術力を的確に評価できる目利き能力の向上のため各種研修参加による人材育成への積極的な取組み	(1)中国ブロック信用組合協議会が主催する次の研修に参加しました ① 渉外・融資推進(初級)研修 (平成31年 4月 4名) ② 目利き・事業性評価研修 (令和元年 5月 4名) ③ 企業再生支援研修 (令和元年 7月 4名) ④ 融資査定診断士育成研修 (令和元年10月 2名) ⑤ 企業支援ランクアップ研修 (令和元年11月 2名) ⑥ 渉外・融資推進(中級)研修 (令和元年12月 7名) (2)全国信用組合中央協会等が主催する研修に職員を派遣しています。 (3)若手職員を対象とした融資勉強会や保証会社から講師を招いて個人ローン勉強会等を開催し、職員全体のスキルアップに取り組んでいます。

## 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	取組内容	令和元年度推進状況
地域活性化につながる多様なサービスの提供	<p>・利用者満足度アンケート調査の意見を反映した取り組み</p>	<p>(1) 顧客満足度の向上に向けた第14回アンケート調査を平成31年3月に実施、令和元年6月にディスクロージャー誌上で回答の分析結果を公表しました。</p> <p>(2) 利用者満足度の向上に向けたアンケート調査の意見を反映し、令和2年秋の駅前支店建替オープンに向けた準備を進めており、お客様の利便性向上に取り組んでいます。</p> <p>(3) 商業施設へのATM設置を推進し利便性の向上に努めています。令和元年度はマックスバリュ海田店とekie(JR広島駅北口)に設置しました。</p>
	<p>・地域の活性化につながる各種取り組み(地域貢献、環境問題、金融教育、多重債務者問題等)</p>	<p>(1) 令和元年度の職場体験学習は、中学生5名と高校生5名を5店舗で受け入れ、金融機関の業務について体験していただきました。</p> <p>(2) 令和元年6月、広島市主催の散乱ゴミ追放キャンペーン「ごみゼロ・クリーンウォーク」に参加しました。</p> <p>(3) 令和元年8月に12名、令和2年2月に37名の大学生等をインターンシップ研修として受け入れ、金融業務を体験していただきました。</p> <p>(4) 令和元年8月、社会に著しい貢献が期待できる法人を表彰する、一般財団法人船井財団主催のグレートカンパニーアワードにおいて、当組合は、本来業務に特化したブレない経営方針で、増収増益を継続したことなどが評価され、全国9,000社の中から特に優れた企業7社に選ばれ、「顧客感動賞」を受賞しました。</p> <p>(5) 9月3日の「しんくみの日」にあわせ令和元年9月に献血運動を実施、役職員および近隣にお勤めの方など75名が参加し、53名の方に献血をしていただきました。</p> <p>(6) 「地域密着」を掲げる当組合の経営を参考にし、地域貢献や人材育成につなげていきたいとの要請を受け、船井総合研究所しんきん経営研究会(令和元年8月)、日本私立大学協会中四国支部分科会(令和元年8月)、協同金融研究会(令和元年8月)において、理事長が講演を行いました。</p> <p>(7) ビジネスマッチングを取引先に紹介し、次のマッチングに参加しました。 2019しんくみ食のビジネスマッチング展(令和元年10月、東京) 第5回しんくみビジネスマッチング(令和元年11月、岡山)</p> <p>(8) 平成31年4月、中国財務局の「多重債務相談」および「金融ほっとライン」のチラシを営業店へ備え置き、広報しました。</p> <p>(9) 令和元年7月、消費者庁の「消費者ホットライン」188を、デジタルサイネージ、リーフレットで広報しました。</p> <p>(10) 令和元年7月、公正取引委員会、経済産業省(中小企業庁)、消費者庁による消費税の引き上げにともなう消費税の円滑かつ適正な転嫁についての資料等を、営業店へ備え置き、広報しました。</p> <p>(11) 令和元年8月、広島市経済観光局の依頼を受け、「ビジネスフェア中四国2020出展者募集」のリーフレットを営業店へ備え置き、広報しました。</p> <p>(12) 令和元年8月、まち・ひと・しごと創生本部事務局からの依頼を受け、「地方創生☆政策アイデアコンテスト2019」をデジタルサイネージで広報しました。</p> <p>(13) 多重債務者対策本部等が主催する多重債務者相談強化キャンペーン(令和元年9月～12月)に協力し、デジタルサイネージ、リーフレットで広報しました。</p> <p>(14) 令和元年11月、広島県商工労働局からの依頼を受け、「広島県創業者表彰制度」のチラシ等を営業店へ備え置き、広報しました。</p> <p>(15) 地域貢献の一環として平成31年4月マツダ スタジアムで開かれたプロ野球「広島東洋カープ×横浜DeNAベイスターズ」戦のスポンサード・ゲームを開催し、役職員とその家族等を招待しました。</p>
	<p>・大学教育を通じて、地域社会と中小企業金融の発展、ならびに、教育支援や人材育成に貢献する取り組み</p>	<p>(1) 平成31年4月、当組合理事長が広島修道大学の特別客員教授に再任されました。</p> <p>(2) 平成21年度からの取り組みである産学連携は、令和元年度も継続して実施しています。理事長が4月に広島修道大学、5月に安田女子大学、7月に広島経済大学で「地域金融における信用組合の役割」について講義を行いました。</p>